



情報科学部 新2年生ガイダンス 教務関連の説明

説明内容

1. ガイダンス資料等について
2. 教員（チューター等）の紹介
3. 学年暦、学期（ターム）、授業時間
4. 履修登録と再履修について
 - 情報科学基礎実験の履修方法について
 - 再履修方法について
 - 各学科の専門教育（カリキュラム）の確認
5. 卒業要件と進級要件について
6. **産学連携教育について** **NEW**
7. **イノベーション人材育成プログラムについて**



1. ガイダンス資料等について

- ガイダンスでは、主に教務関係の重要な部分のみ説明します
- 資料は大学ホームページ右上のメニューより

教育・学生生活 → 履修情報 → 履修登録関係資料

から確認できます。ガイダンス資料以外にも重要な情報が掲載されていますので、必ず確認してください。

**産学連携教育やイノベーション人材育成プログラムの
詳細も掲載されているので必ず確認しましょう！**



2. 教員（チューター等）の紹介

チューターは相談窓口

守秘義務を負っているのでご安心を

- 学業だけでなく、学生生活、プライベートな相談も悩み事があったら気軽に相談しましょう！
- きっと良きアドバイスがもらえます
- 必要に応じて、大学側に掛け合ってもらえます



各学科のチューター

皆さんの担任のような存在

学科	チューター1	チューター2
情報工学科	谷川 一哉	井上 伸二
知能工学科	宮原 哲浩	森 康真
システム工学科	高井 博之	辻 勝弘
医用情報科学科	福田 浩士	常盤 達司

教務委員と学生委員の紹介

教務関係のサポート

学科	教務委員	学生委員
情報工学科	(永山 忍*) 小畑 博靖 新 浩一	弘中 哲夫** 高橋 賢
知能工学科	高濱 徹行 宮崎 大輔	原 章* 鎌田 真
システム工学科	田中 輝雄 神尾 武司	脇田 航 中山 仁史
医用情報科学科	長谷川 義大** 青山 正人 鷹野 優	樋脇 治 釘宮 章光

学生生活のサポート

学生HANDBOOK、学修の手引きとシラバス

- 学生生活に関わることはすべて[学生HANDBOOK](#)に記載されている
- **困ったこと・疑問・悩み**があったら、学生HANDBOOK(Web)を確認
 - 答えが見つかる場合が多い
 - 卒業するまで必要なのでブックマークしておくが良い
- 同様に、授業や履修に関わることは[学修の手引き](#)に記載されている
- 講義内容は[Web掲載のシラバス（授業概要）](#)で確認できる

学則や各所への
問合せ先も載っている

学生HANDBOOKや学修の手引きは
ウェブ上で24時間いつでも貴方をサポート

3. 学年暦、学期(ターム)、授業時間

2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)

前期(4/1 - 9/30)				後期(10/1 - 3/31)									
第1ターム(4/8 - 6/7)		第2ターム(6/8 - 8/9)		第3ターム(10/1 - 11/26)		第4ターム(11/27 - 2/6)							
4/2	4/2 - 4/5	4/8	6/3 - 6/7	6/10	7/30 - 8/9	8/10 - 9/30	9月 下旬	10/1	11/20 - 11/26	11/27	12/26 - 1/3	1/28 - 2/6	2/7 - 3/31
入学式	オリエンテーション	前期・第1ターム授業開始	第1ターム試験期間	第2ターム授業開始	前期・第2ターム試験期間	夏季休業	後期ガイダンス	後期・第3ターム授業開始	第3ターム試験期間	第4ターム授業開始	冬季休業	後期・第4ターム試験期間	学年末休業

土日祝日は原則休みだが、授業を行う日もあるので資料等を確認

授業時間

時限	時刻
1時限	9:00 – 10:30
2時限	10:40 – 12:10
お昼休み (昼食)	12:10 – 13:00
3時限	13:00 – 14:30
4時限	14:40 – 16:10
5時限	16:20 – 17:50
6時限	18:00 – 19:30

補講時のみ
(普段はない)

授業:90分

休憩:10分

お昼:50分

4. 履修について

時間割(履修登録)例

時限	時刻	月	火	水	木	金
1限	9:00 - 10:30			講義		
2限	10:40 - 12:10	講義	講義	演習		講義
3限	13:00 - 14:30		講義		実験	
4限	14:40 - 16:10	講義	講義		実験	
5限	16:20 - 17:50				実験	講義

空き時間に事前・事後学修

- 講義科目 1コマあたり **3コマ分時間の事前・事後学修**が必要
- 時間割は自分で組む (科目を選ぶ)
- **科目の詰め込み過ぎに注意!** 予習・復習の時間が取れない
- 半期で **上限24単位まで**履修登録可能 (推奨: **20単位程度**)
- **集中講義**は、一部でも前期・後期期間に実施される科目は上述の**上限計算にカウントされる**ので注意 (休業期間中に実施される科目はカウントされない)

履修登録について

- 履修登録なしで**単位は取れない**（絶対に必要な手続き）
- 時間割表を見ながら自分の時間割表（前期分）を作る
- 「忘れていた・間違えた」では済まされないので注意！**
- Webで期日までに履修登録。** 確認期間に**間違いが無いか必ず確認**

第2ターム分
も忘れずに

4月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30
3/31	4/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27

履修登録期間
4/12 17:00まで

履修確認期間
4/24 17:00まで

履修登録と取り消しについて

- **必修科目**は必ず履修（自分のクラスの授業を履修登録）
- 選択科目は自由に選べる（お勧めは初回授業に出てから選択）
- ただし**半期に24単位までしか登録できないので注意！**
- **同じ時間の授業は履修できない！**
- 履修登録後は、**履修取消期間でなければ、登録は取り消せない！**
- 取り消さずに放置すると**全体の成績が下がる**

第2ターム科目の取消期間は
6月下旬

履修取消期間
(第1ターム科目)
4/24 17:00まで

日	月	火	水	木	金	土
4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27
4/28	4/29	4/30	5/1	2	3	4
5	6	7	8			
12	13	14	15			
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	6/1

履修取消期間
(前期科目)
5/22 17:00まで

情報科学基礎実験の履修方法について

クラス	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
ABC	実験 a	実験 b	実験 c	なし
DEF	実験 b	実験 c	なし	実験 a
GHI	実験 c	なし	実験 a	実験 b
JKL	なし	実験 a	実験 b	実験 c

- **クラスごとに** 3つの実験を上記のように**順に履修**
- **特別な理由**がある場合に限り、順番を変更可（**他クラスでの履修可**）
 - 理由の例：留学、病気・怪我など
 - 申請時期：学期初め（履修登録時）

実験の代表教員と教務委員会の承認が必要

再履修方法について

- 通常の科目同様、Web 上で履修登録可能
- **注意：同じ時間の授業は複数履修することはできない！**
- 原則、**自分のクラスの科目**を履修登録
- ただし、以下の科目は注意（不明な場合は科目担当者に問合せ）

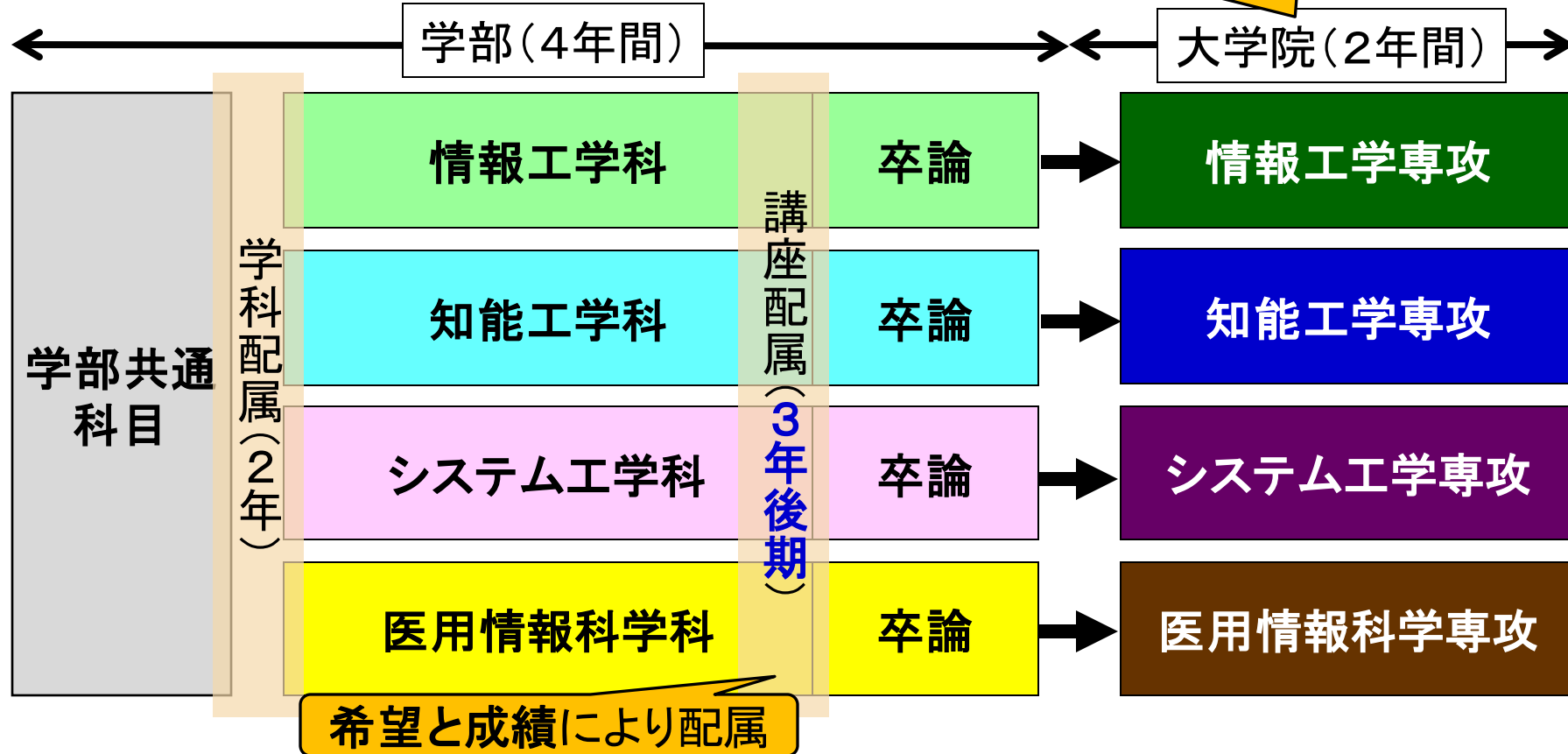
前期科目

科目名	説明
eラーニング英語Ⅰ	履修希望者は、履修登録の上、詳細を WebClass で確認してください。
eラーニング英語Ⅲ	
英語応用演習Ⅰ	2023 年度入学生は、WebClass で「英語応用演習Ⅲ」のクラス分けを確認し、指定されたクラスで授業を受けてください。 再履修者（2022 年度以前入学生）は、クラス分けについて、国際学部 渡辺教授（watanabe@hiroshima-cu.ac.jp）に早急にメールで相談してください。勝手に元のクラスに戻ってはいけません。
英語応用演習Ⅲ	

英語科目の履修、再履修について不明な点がある場合、国際学部 渡辺教授（watanabe@hiroshima-cu.ac.jp、語学センター棟 402 号室）に相談してください。

各学科の専門教育

大学院で、**技術者・研究者**に求められる知識・技能を更に深く学ぶ(6年間教育)

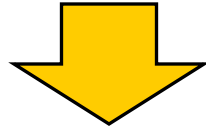


- **情報工学科**：コンピュータやネットワークなどの**情報基盤技術**に関する分野
- **知能工学科**：人工知能を支える**数理、知識情報処理、ソフトウェア技術**に関する分野
- **システム工学科**：情報システム全体の調和と協調を図った**創造的なシステム化技術**に関する分野
- **医用情報科学科**：情報科学・自然科学・工学を基に、**医用、生命、環境**などへの**活用技術**に関する融合分野

学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を確認しよう！

4年間の学びを通じて、身に付けておくべき
能力をまとめたもの
(卒業時の目標)

自分の強みや弱みと見比べ、目標に向け、
高めるべき能力を意識しながら科目を履修
しよう！



就職活動での
アピールポイントになる

2024年度入学生版 学修の手引き p.2

人材育成の目標及び各ポリシー

学士課程

人材育成の目標

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

広島市立大学は、所定の期間に在学し、所定の単位を修得し、以下の知識・技能・能力を身に付けた上で当該学部が定める審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学位を授与する。

- ① 多様な文化・価値観を尊ぶための、人間、社会、自然、平和に関する幅広い教養と知識・技能を有している(知識・技能)
- ② 専門領域に関する体系的な知識・技能を身に付けている(知識・技能)
- ③ 発見した問題について論理的に考え、判断することができる(思考力・判断力)
- ④ 自らの考えをわかりやすく表現する能力を身につけている(表現力)
- ⑤ 社会的課題の解決には社会との関わりの中での創作活動に向けて主体的に取り組む姿勢を有している(主体性)
- ⑥ 他者と協働して取り組む姿勢を有している(協働性)

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

広島市立大学の学士課程における学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を達成するため、教育課程を次のように編成する。

1. 人間、社会、自然、平和に関する幅広い教養と知識・技能を得るため、全学共通科目を開設する。
2. 多様な文化・価値観に対する理解を深めるのに必要となる外国語によるコミュニケーション能力を養成するため、外国語科目を開設する。
3. 各学部の理念と専門教育の特色に対応した専門教育科目を開設する。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

広島市立大学は、次のような人の入学を求めています。

1. 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
2. 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
3. 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

国際学部

人材育成の目標

国際学部は、グローバル化の進展など社会が変化する中で、豊かな学識と広い視野に基づいて、グローバルな視点から平和で持続可能な国際社会の実現や地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成することを教育理念とし、次のような人材を育成します。

1. 人文・社会科学の分野を幅広く系統的に理解し、分野を統合して思考判断することができる人材
2. 社会が抱える諸課題を自発的に見出し、課題の解決に向かって主体的に取り組むことができる人材
3. 多様な価値観を持った人々と対話し、協働して課題の解決に向かって取り組むことができる人材

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

国際学部は、所定の期間に在学し、所定の単位を修得し、以下の専門的な知識・技能及びそれらを社会で活用するための貴貴・能力を身に付けた上で、卒業論文を執筆し審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士(国際学)」の学位を授与する。

[知識・技能]

1. 人文・社会科学の知見や理論についての体系的な知識を身に付けている。(知識)
2. 人文・社会科学の分野をまたいで学際的に探究する技能を身に付けている。(技能)

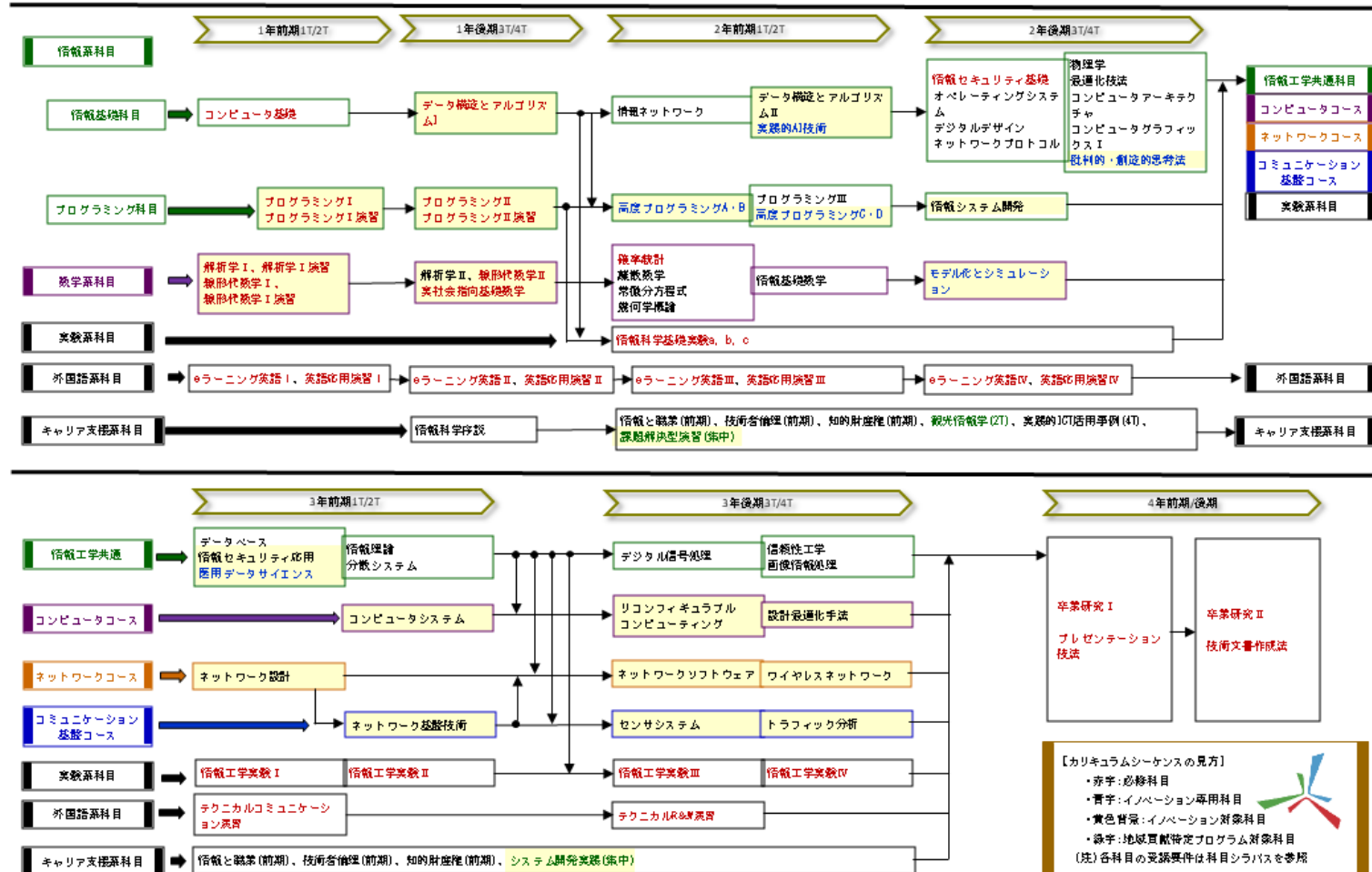
[思考力・判断力・表現力]

1. 人文・社会科学のさまざまな分野に関する知識や理論を基に社会的課題を探究することができる。(思考力)
2. 根拠に基づいて論理的に考え判断することができる。(判断力)
3. 自らの考えを説理的に分かりやすく表現する能力を身に付けている。(表現力)

専門教育科目はカリキュラムシーケンスを参考に

学科ごとに用意されているカリキュラムシーケンスを参考に計画的な学習を

情報工学科カリキュラムシーケンス



他学部・他学科授業科目の履修について

- **授業担当教員**および**教務委員会**の承認が必要
 - Web上で自学部・自学科科目と同じ様に登録可能
 - 他学部・他学科科目は**あわせて10単位まで**は卒業単位に加算可能
 - 他学部科目は**総合共通科目**として
他学科履修は**専門教育科目**として加算可能
- 闇雲な他学部・他学科履修は計画的な学びを崩す恐れがあるので注意

単位互換制度とキャリア関連科目について

- **他大学の科目**を本学の単位として認定可能（**単位互換制度**）
 - 教育ネットワーク中国に所属する大学が提供する科目
 - 広島・地域志向科目として認定
 - 詳しくは事務局 教務グループ担当まで
- キャリア形成・実践科目（**1単位以上必要**）
 - **キャリアデザイン i**（1・2年、1T）、**キャリアデザイン ii**（1・2年、4T）
 - インターンシップベーシック（1・2年、2T・3T）
 - キャリアサポートベーシックA・B（2・3年、前期・後期）
- キャリア支援系科目（専門科目）
 - **課題解決型演習**（2年集中）、**実践的ICT活用事例**（2年4T）

注意：受け付け時期などの詳細は掲示板等で案内されるので注意

教職免許状関連の科目について

- 取得可能な教員職員免許状の種類

- 高等学校教諭一種免許状（**情報**）
- 高等学校教諭一種免許状（**数学***）
* 医用情報科学科では数学は取得できない

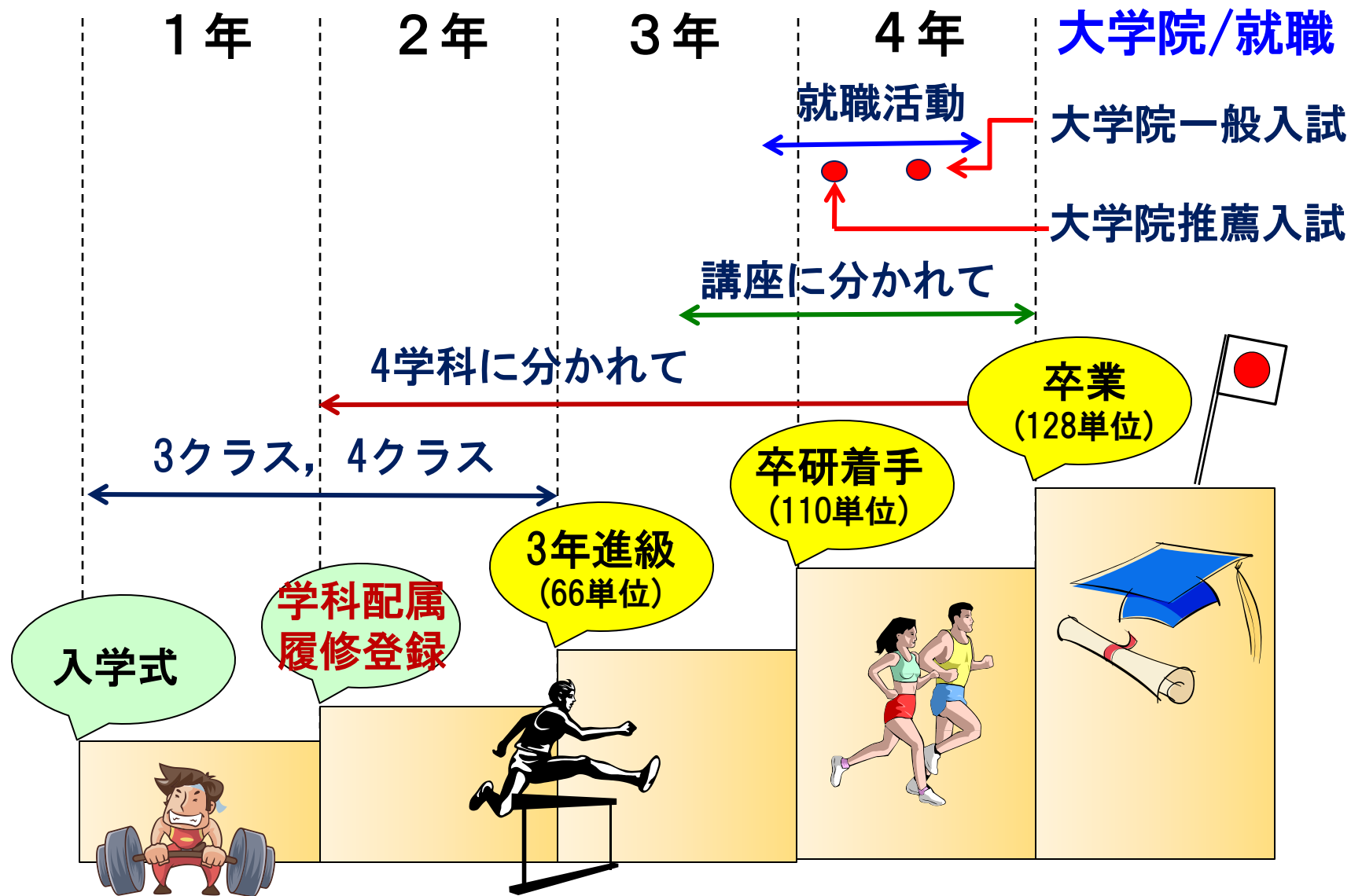
- 取得するには？

- **指定された専門教育科目**の履修（教科の専門知識）
- **教職課程用科目***の履修（教育の基礎的な知識など）
* 卒業要件の単位数に含まれない（**自由科目**扱い）



注意：履修登録の際に教職課程登録届けの提出が毎回必要！

5. 卒業要件と進級要件について



卒業要件

科目区分		必要単位数	科目区分	必要単位数
全学共通系科目	総合共通科目	広島・地域志向科目	学部共通科目	95単位
		平和科目	専門基礎科目	
		共通科目A (人間と社会)	専門科目	
		共通科目B (数理と自然)	2単位以上	
		共通科目C (芸術)	1単位	
		初年次演習科目	1単位以上	
		キャリア形成・実践科目	16単位以上	
		小計	2単位	
	一般情報処理科目	2単位		
	保健体育科目	2単位		
外国語系科目		8単位以上		
全学共通 + 外国語系科目合計		33単位		

- 講義: 90分 × 15回で2単位
- 演習・実習: 90分 × 15回で1単位

- **必修科目**: 卒業に必要な科目
- **選択科目**: 卒業単位に加算され選べる
- **自由科目**: 卒業単位に加算されない

卒業必要単位数: 128単位

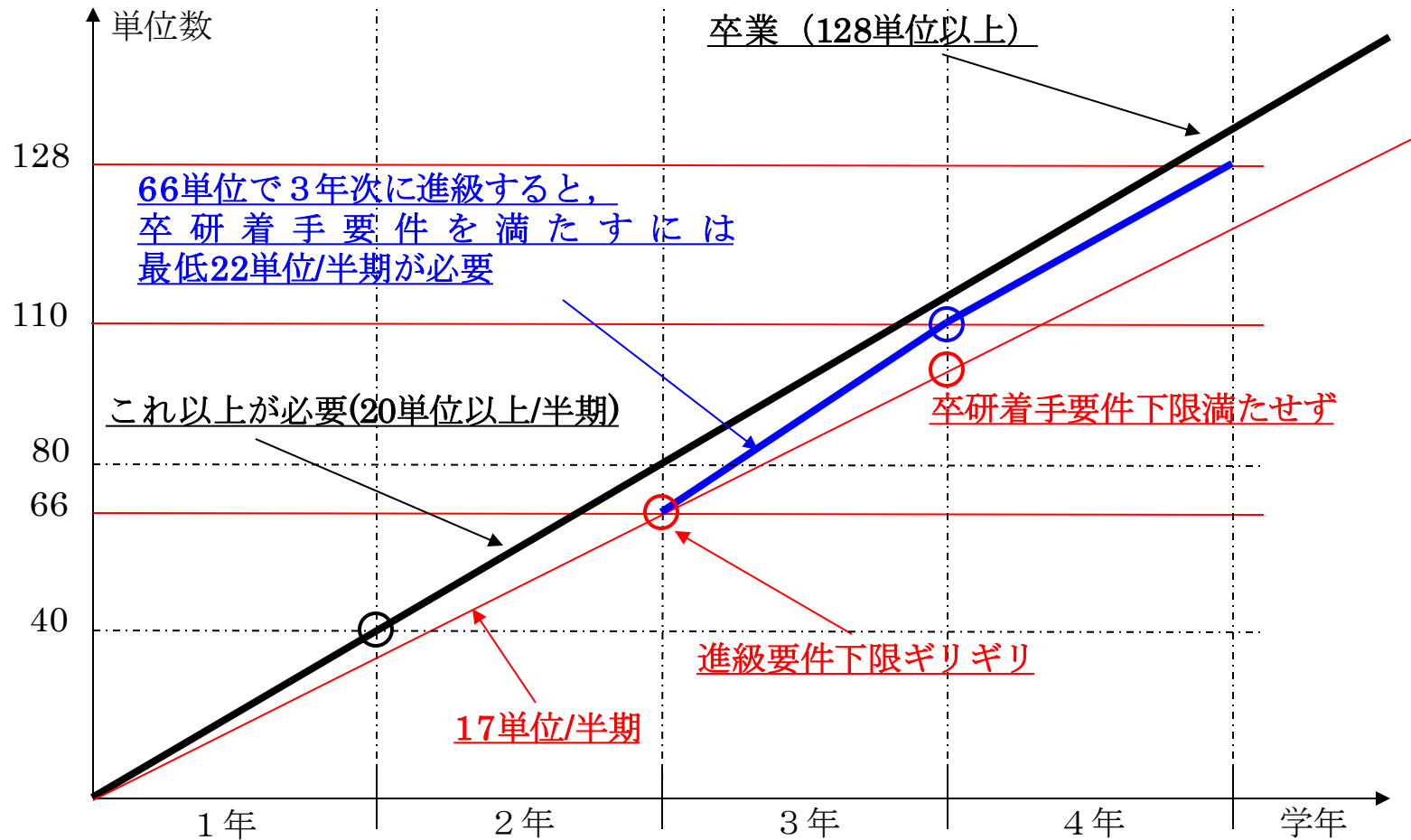
進級・卒業要件の確認

- 3年次進級要件（2年 → 3年）
 - 単位数：**66単位**以上（80単位が目安）
 - 情報科学基礎実験、プログラミングⅠ・Ⅱ演習、**eラーニング英語Ⅰ・Ⅱ（TOEIC 250点以上）**の単位修得
44単位が必要（上限：48単位/年）
- 4年次進級要件（3年 → 4年）
 - 単位数：**110単位**以上
 - すべての必修の実験・演習科目および**eラーニング英語Ⅲ・Ⅳ（TOEIC 350点以上）**の単位修得
- 卒業要件
 - 単位数：**128単位**（全学共通系＋外国語系：33単位、専門教育：95単位）
 - すべての必修科目の単位修得
 - 卒業論文の執筆、卒業研究の発表

TOEICは大学院入試
や就職でも重要



計画的に単位を取ろう！



TOEICについて

- 早い時期から計画的に受験対策を！
 - 3年次進級要件：**250点**以上（授業内 TOEIC）
 - 4年次進級要件：**350点**以上（授業内 TOEIC）
 - 大学院推薦資格：**400点**以上
 - 就職：
 - 海外出張：**600点**以上
 - 海外駐在：**730点**以上
- 試験日程に注意
 - 年10回実施（何回でも受験可）
 - 結果の発送は試験日の約1ヶ月後



成績とGPA (Grade Point Average)

成績評価 (5段階)

評価	評点	Grade Point	合否
秀	90 - 100 点	4	合格
優	80 - 89 点	3	
良	70 - 79 点	2	
可	60 - 69 点	1	
不可	59 点以下	0	不合格

$$\text{GPA} = \frac{(\text{成績評価を受けた科目のGP} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{成績評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

NEW

6. 産学連携教育について

2022年度より
スタート

企業と連携した実践的教育で

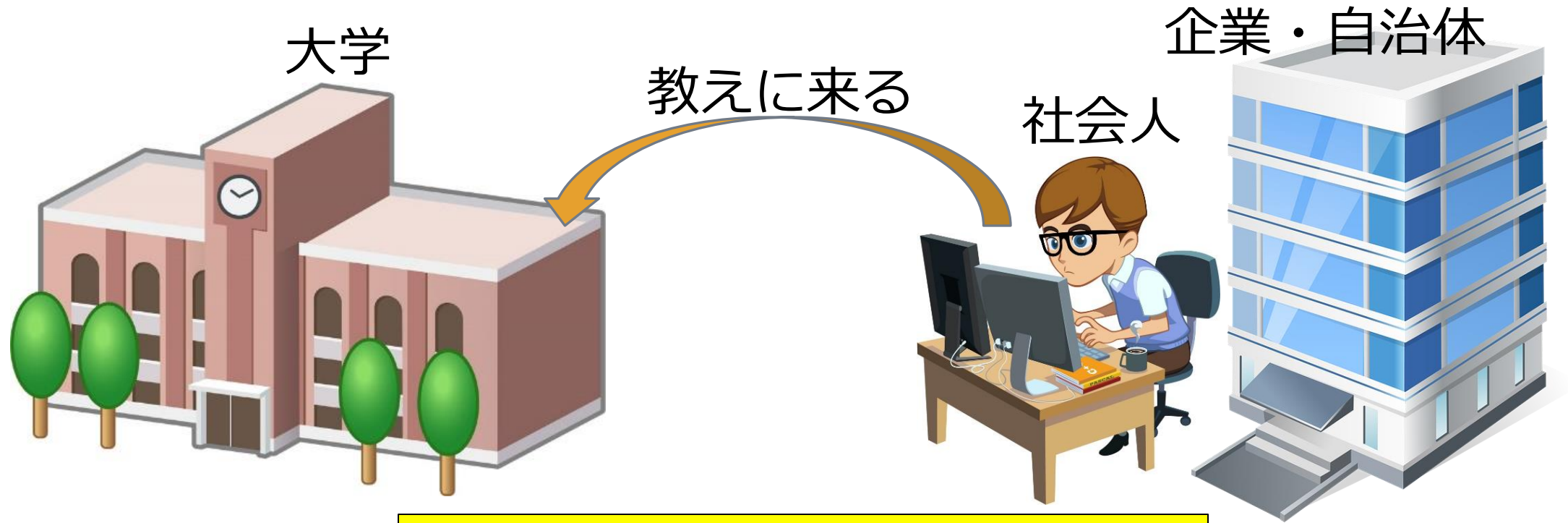
皆さんの意欲向上と将来像の明確化を狙った科目群（3科目）

- **実践的ICT活用事例**（2年後期）：
ICTが社会でどう活用されているかを**知る**科目
- **課題解決型演習**（2年集中）：
地域・企業課題の解決法を検討し学びを**深める**科目
- **システム開発実践**（3年集中）：
学んだ知識・技能を現場で**実践する**科目

学びと社会のつながりを体験できるので是非受講を！！

実践的 ICT 活用事例(2年後期)

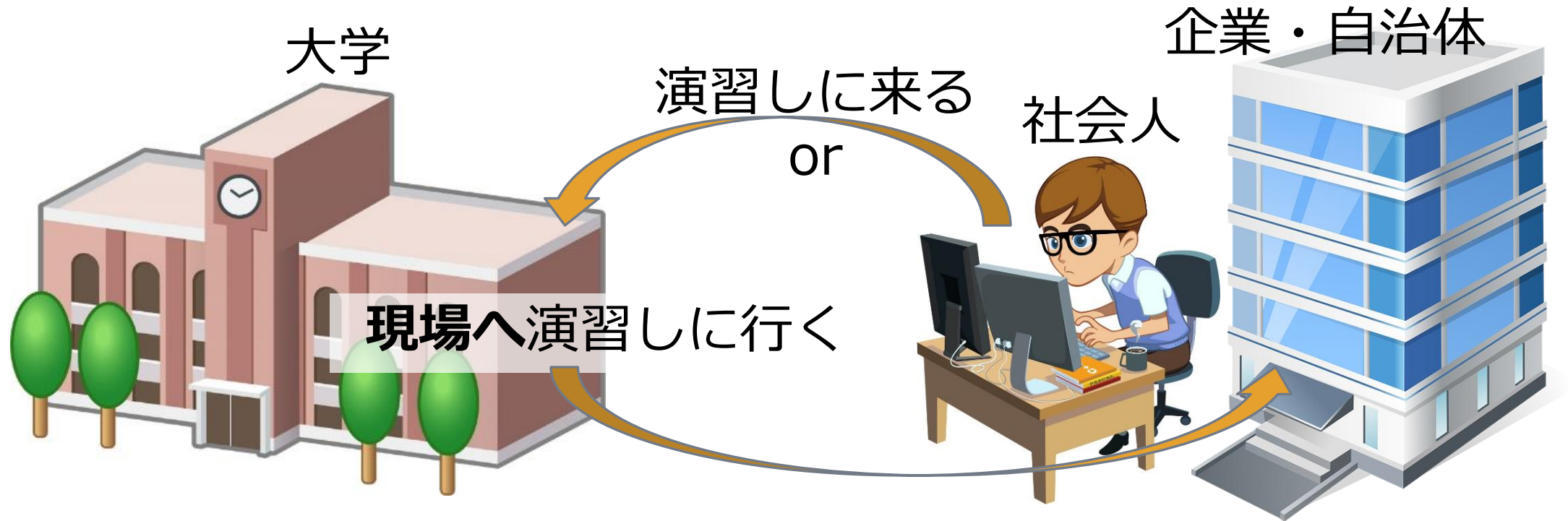
皆さんが学んでいる情報科学が社会でどのように活用されているか？
どのように役立てられているか？を**知る**講義科目（2単位）



後期ガイダンスで改めて説明

課題解決型演習（2年集中）

皆さんが学んでいる情報科学技術で地域や企業の課題をどのように解決するか？を演習を通じて考え、学びを**深める**演習科目（1単位）



社会人の方々と一緒に演習

課題解決型演習の流れ

企業の受入人数の都合上、履修希望者過多の場合、受講を断ることがある

ガイダンスI・IIを欠席すると単位が出ない

1. ガイダンス I (45分)
 - ・授業 (成績評価方法など) の説明
 - ・各企業の課題 (テーマ) への割当て
2. ガイダンス II (45分) : マナー研修
3. **長期休暇**に現場もしくは学内で演習
4. 演習の成果を大学にて発表

企業とテーマ一覧

- ・ マイクロンメモリ
「半導体メモリ生産におけるBigDataの活用」
- ・ コーヨー
「遠隔地からゴミ量を解析することに関する演習」
- ・ 田中電機工業
「DXチャレンジ (IBM等共催)」
- ・ 広島県
「実データを用いた課題解決型データ分析演習」
- ・ 株式会社コア 中四国カンパニー
「エネルギー業界におけるセキュリティ調査と課題・対策検討」

ガイダンス I : 4/9(火) 3限@講404

ガイダンスII (予定) : 8/8(木) 3限@講404

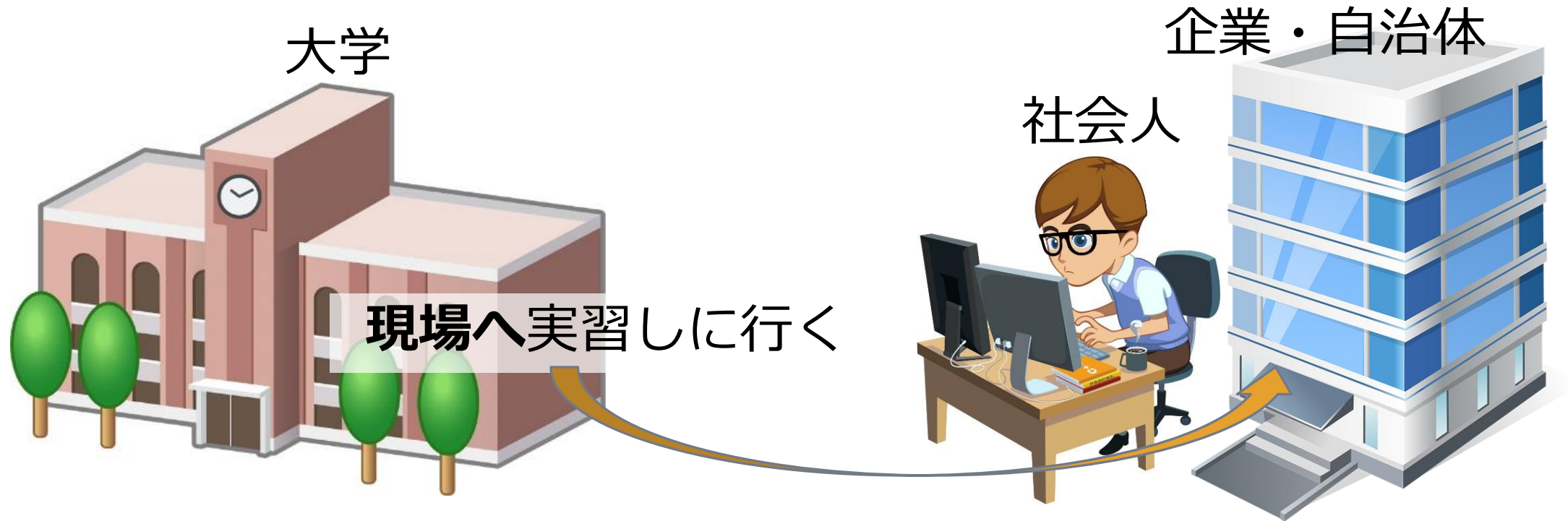
成果発表会 (予定) : 9/27(金) 4限@講404

※ テーマは変更されることがある

システム開発実践(3年集中)

皆さんが学んでいる情報科学技術を、実際の開発現場でシステム開発などに**実践する**実習科目(2単位)

現場で腕試ししながら就業体験!



3年前期ガイダンスで改めて説明

7. イノベーション人材育成プログラム

2021年度より
スタート

通常の科目に加え、
発展的な内容を扱う科目で得意分野を伸ばす教育プログラム

プログラミングが得意なら・・・

革新的 ICT 実践特別コース

で学び、「ものづくり」を極めた
スーパーシステムエンジニアへ！

数学が得意なら・・・

革新的情報科学特別コース

で学び、科学的探究力をもつ
ICT 技術者へ！

「得意なことをもっと学びたい」
という気持ちを後押しするプロ
グラム！

イノベーション人材育成プログラムの特徴

1. **実践的な応用問題・演習**にチャレンジできる
2. **実践的な専門教育・研究**に**早く**チャレンジできる
3. **優先的な学科・講座配属**
4. **大学院への早期進学**にもチャレンジできる

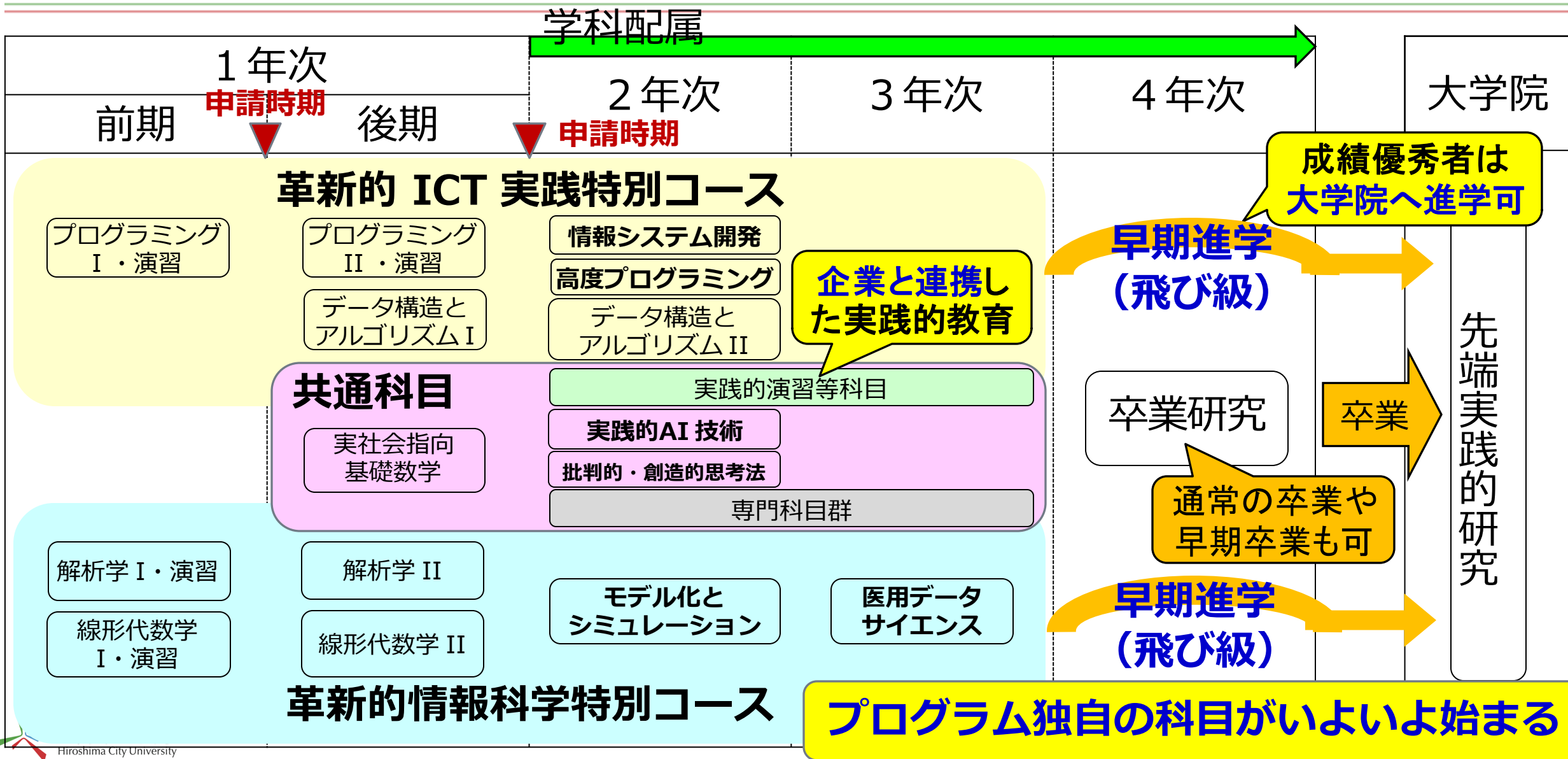
大学での教育
(3年間)

大学院での研究
(2年間)

通常6年を**最短5年**で大学院修了

素早くお得に深く学んで、
トップエンジニア・研究者へ！

イノベーション人材育成プログラム（概略図）



高度プログラミング（各1単位科目）

- 高度プログラミングA（後期集中）
 - **プログラミング言語**について深く学ぶ
- 高度プログラミングB（第1ターム）
 - SNSからの**データマイニングプログラム**について学ぶ
- 高度プログラミングC（第2ターム）
 - **ウェブプログラミング**について学ぶ
- 高度プログラミングD（第2ターム）
 - **VRシステム**開発について学ぶ

全て取る必要はない
2科目以上取れば良い

イノベの専門科目群と実践的演習等科目

専門科目群(学科毎に整備)

情報工学	知能工学	システム	医用情報
情報セキュリティ応用	グラフ理論	確率過程論	バイオインフォマティクス 1, 2
コンピュータシステム	人工知能	数値計算法	量子力学、統計力学
リコンフィギャラブル コンピューティング	感性情報処理	メカトロニクス	医用データサイエンス
設計最適化手法	機械学習	画像情報処理	デジタル信号処理
ネットワーク設計	データマイニング	制御工学1	制御工学
ネットワークソフトウェア	情報検索	ロボティクス1	電気電子計測
ワイヤレスネットワーク	画像情報処理	デジタル無線通信	生体情報工学
ネットワーク基盤技術	自然言語処理	オペレーティング システム	医用情報システム開発
センサシステム	情報理論	パターン認識	医用情報通信工学
トラフィック分析	パターン認識	ヒューマン インタフェース1	医科学概論1, 2

実践的演習等科目

(産学連携教育科目の一部)

- **課題解決型演習 (2年)**
- **システム開発実践 (3年)**

**企業等から提示された課題に
チャレンジする実践的演習**

2つのうちどちらかが必要

- **3年次科目が多い**
- **科目シーケンスを参照の上、
基礎の科目を計画的に履修**

イノベーション人材育成プログラム修了認定条件

1. **プログラム参加の申請**（**1年後期**または**2年前期**の履修登録時）
2. **共通科目群**の全科目（**6単位**）を修得
3. **数学系科目群**から**14単位** または
プログラミング系科目群から**14単位以上** を修得
4. 自学科の**専門科目群**の中から**6単位以上**を修得
5. **実践的演習**等の科目**1単位**を修得

合計**27単位以上**
で修了可能

- 通常の科目との重複も多いので、**少しの追加科目の修得で修了可能**
- 意欲があれば誰でもチャレンジ可能（**得意分野の成績が大事**）
- プログラムはいつでも止められる（**チャレンジして失うものは何もない**）

イノベの制度を利用して早期進学(飛び級)で大学院入試を受験するには(1)

早期進学(飛び級)で大学院入試を受験するためには、出願前に事前審査を受けなければなりません。以下をすべて満たす人にその資格があります。

- ① 2年次までに**全学共通系科目の各区分および外国語系科目**について卒業要件を満たす単位数(合計が33単位以上)を修得していること
- ② 2年次までに開講された**学部の専門教育科目の必修科目**の単位をすべて修得していること
- ③ 3年次までに**修得見込みの単位数**が、卒業要件単位数から4年次に開講される必修科目の単位数を除いた単位数以上であること
- ④ **イノベーション人材育成プログラム**で優秀な成績を収めていること
- ⑤ 人物面で優れ、志望する専攻に対する**熱意と適正**を有すると認められること

次ページで
補足

※ これは大学院入試の募集要項に記載される内容です。年度により内容が一部変更になる可能性もありますので、受験年度の募集要項をよく確認してください。

イノベの制度を利用して早期進学(飛び級)で大学院入試を受験するには(2)

前ページ④「イノベで優秀」は、以下をすべて満たす見込みがあるかどうかで評価されます

- a. **大学入学後**(休学期間を除き)**3年間**でイノベ修了見込みであること
- b. イノベ科目(共通科目群, 数学系科目群かプログラム系科目群のどちらか一方, 専門科目群, 実践的演習等科目)のうちで**5科目以上で「秀」**の成績を修めていること
- c. **必修の実験をすべて「優」以上**の成績で修めていること

- 大学院へは推薦入試で (**奨学金の対象**)
- 卒業はしないが**学位の取得は可能** (卒業と同等)

詳しく知りたい人は教務委員に問い合わせてください

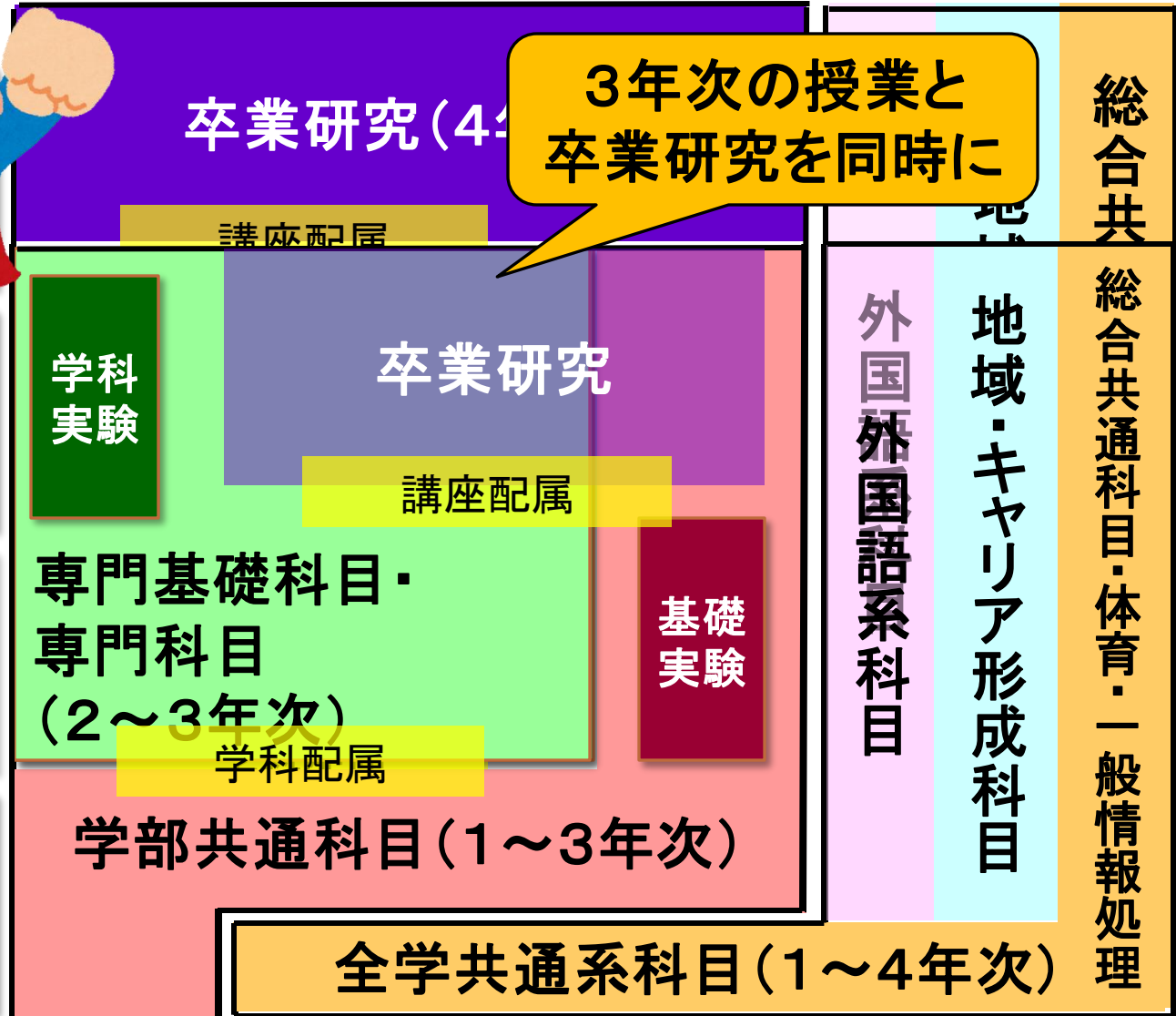
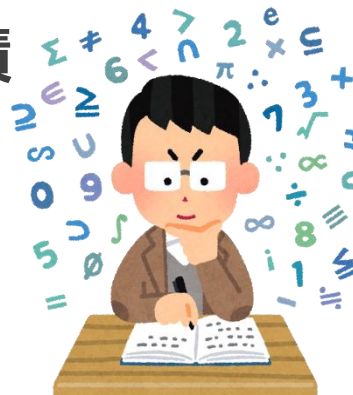
早期卒業制度との違い

● 早期卒業

- 3年または3年半で卒業
- 卒業に必要な全科目を履修
- 全科目で好成績

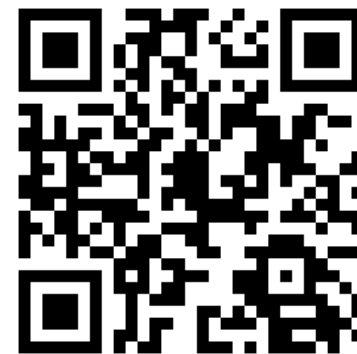
● 大学院への飛び級

- 3年で大学院へ進学
- イノベプログラムを履修
- 得意分野で好成績



イノベーション人材育成プログラムの申請

- **4月7日(日)までにWeb申請** (QRコードからアクセス可能)
- イノベ独自の科目は**参加申請しないと履修登録できない**上に受講人数に制限 (**40名程度**) があるので注意
 - 「実践的 AI 技術」、「批判的・創造的思考法」
 - 「情報システム開発*」、「高度プログラミング」
 - 「モデル化とシミュレーション」、「医用データサイエンス*」
 - *学科によっては、誰でも受講できる一般向け科目もある
- 人数制限を超えた希望が来た場合は**総合型選抜入試**での入学者を優先し、それ以降は**関連科目** (プロII or 線形II) の**成績順**に受け入れ



- 1年次登録者で「**継続可**」の通知を受け取った人は**再申請不要**
- 1年次登録者で**プログラムを止めたい人**は、期日までに**辞退申請**を

目指せ！ひろしま地域リーダー

地域志向特定プログラム

地域に愛着・誇りを持ち、地域の発展に貢献する人材を育成する**教育プログラム**

地域志向特定プログラム修了 + 地域貢献テーマでの卒業研究

||

ひろしま地域リーダーの称号！

イノベーション人材育成プログラムへの
のちよい足しで同時に取れちゃう？

地域志向特定プログラム修了認定条件

次のAからCを含めて **8単位以上取得** すること

うち2単位は卒業要件

A) **広島・地域志向科目群**から4単位以上

B) 「**地域課題演習**」または「**課題解決型演習**」から1単位以上

C) 「**観光情報学**」または「**システム開発実践**」から2単位以上

下線の2科目はイノベの(選択)必修

イノベ受講者であれば、

- ・ **広島・地域志向科目群**から**1科目**
 - ・ 「**地域課題演習**」または「**観光情報学**」の**1科目**
- の合計2科目の追加で**地域志向特定プログラム**を修了可！

地元企業と卒業研究で地域リーダーの称号！

最後に

- 大学入学がゴールではありません
 - 卒業・就職もゴールではありません
 - 大学は**社会での活躍に向けた訓練**をするところです
- 社会でも活躍する人財になれるよう、**主体的に学びましょう**
 - 自分がやりたいこと・得意なことを大学生のうちに見つけましょう
 - 色々なことにチャレンジしてみなければ、みつきりません
 - 就職のときに**アピールできる材料**を今からそろえておきましょう
- 我々教員は、皆さんの主体的な学びを応援します

大学を遊んで過ごせる時代は終わりました

ご清聴
ありがとうございました



不明な点や詳細に関する質問は教務委員へ
kyomu-info2024@m.hiroshima-cu.ac.jp